

「島ぬ宝」育成プロジェクト in 徳之島

～全島協働体制で育む，未来を切り開く地域人材～



課題と現状

- ・島外高校への進学者の増加 →島の高校を卒業する意義・価値が認識されていない
- ・既存の「安定モデル」指向が強い →進路志望状況（進路への視野）の偏り
- ・地域社会や保護者の固定観念 →地域や郷土の将来性への期待が希薄な生徒
- ・自らの主体性と地域貢献力の可能性に気づいている生徒が少ない



育てたい人間像

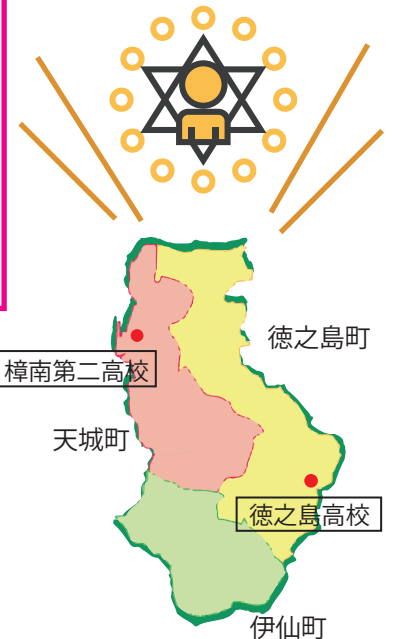
地域（社会）課題解決への気概と能力が高い徳之島人「島ぬ宝」

～未知の課題に果敢に挑戦する気概（意欲・態度）と能力（知識・技能）を持つ人材～

- ① 愛郷心
【地域を知り，地域の課題を自らのものと感じ，地域に貢献したいと願う心】
- ② 進取の気象
【様々な環境変化の中でもアグレッシブにチャレンジしてゆくマインド，能力】
- ③ 向学心
【生涯にわたり自己実現を目指し，主体的に学びに向かい，学びを深める人間性】

研究開発の目標

島内高校（徳之島高校・樟南第二高校）の地域課題を主題とした探究活動を，徳之島全島（3つの町と3つの地域資源）で組織されたコンソーシアムで支えることにより，地域と学校の間には知の循環システム「学びの六光星」の構築を促し，課題解決へのチャレンジングマインドがある若者と地域の形成に資する。



（徳之島高校）

工夫で探究活動を支援 指導体制・計画・環境の	普通科 総合学科	1年次 「探究基礎」（1単位）	2年次 「探究実践」（2単位）	3年次 「探究発展」
		<ul style="list-style-type: none"> ・探究手法の習得 ・先行事例研究，情報収集の方法 仮説の設定法 ・情報の整理と分析 ・SDGsの視点からみた我が島 ・情報の活用と表現 ・情報モラル，情報社会の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の目的，手段を学ぶ ・図書館の活用 ・地域住民との語り合い 「ソクラテス・ミーティング」 ・仮説から課題解決に向けた実践 ・探究したい問いの設定，「徳高ラボ」の結成 	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動を通して， ・探究を進路につなげる ・成果の継続，発信，後輩の指導 <p>「地域課題研究」（課題研究） 生物生産・情報ビジネス・ 生活科学の系列ごとの課題研究</p>

探究スキルの活用による
主体的・対話的で深い学びを
授業や部活動へつなげる。

事業対象学科（全校生徒）の生徒数

学 科	1年	2年	3年	合計
普通科	62	64	56	182
総合学科	33	20	26	79